

※ALLUREはCOMPASS GPSでは調整できません。Widex Compass Cloudをお使いください。

0 Noah4でオーディオグラムなど顧客情報を登録します。

1 Noah4のモジュールバーからWCCを起動します。



WCCを起動すると下記画面（WCCゲートウェイ）が起動します。この画面はWCCを終了するまで閉じないでください。

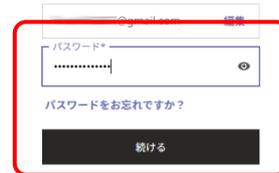


2 ブラウザが起動し、サインイン画面が表示されます。登録したメールアドレスを入力し、続けるをクリックします。



3 パスワードを入力し、続けるをクリックします。

WIDEX
サインイン



ブラウザに電子メール及びパスワードを登録しておく、次からはメールアドレスやパスワードの入力を省略できます。

4 接続をクリックします。

COMPASS CLOUD

補聴器のフィッティングは **接続** をクリックして始めます。

WCCを終了する場合は、**セッションを終了** をクリックします。

モデルの確認やフィッティングの練習は **補聴器の選択** をクリック

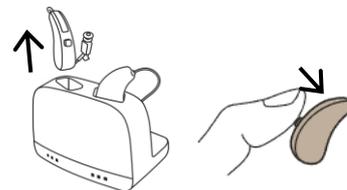
5 新規の調整の場合は **新しいフィッティングを行う** を、再調整の場合は **補聴器からのデータの読み取り** をクリックします。



補聴器からのデータの読み取り：再調整の場合
新しいフィッティングを行う：新たに調整する場合
補聴器へのデータの書き込み：セッションデータのコピー

- 6** 補聴器のプログラムボタンを長押しするか、充電器から補聴器を外し、補聴器の電源をオンにします。
※電源が入ると緑のLEDが短時間点灯します。

工場出荷直後は電池消費を抑えるため、スリープモードで出荷しています。調整前に約12秒充電し、スリープモードを解除してください。



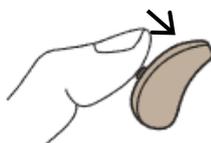
- 7** 補聴器が検索されたら、補聴器のプログラムボタンを軽く押し、左右を指定します。

例) ALLURE RIC R Dの場合

補聴器を選択して新たにフィッティングを行う



補聴器のプログラムボタンを押した側の補聴器に枠が表示されるので、それを目安に左右を指定します。



- 8** 左右指定後、**続ける**（新規の場合）または**データの読み取り**（微調整の場合）をクリックします。



DEMO器の場合はクラスを指定します。クラスの指定後、**続ける** をクリックします。

デモ用補聴器の性能レベルを選択する



参考：補聴器ファームウェア更新

補聴器の機能追加や性能改善等を目的として、不定期に補聴器のファームウェアアップデートを実施しております。WCC接続時に右の画面が表示されたら、**更新** をクリックしファームウェアの更新を行ってください。ファームウェアには、5分ほどかかります。

フィッティングを続行するにはファームウェアの更新が必要です



- 9** 音響構成（レシーバー・イヤチップ等）を指定します。音響構成の指定が終わったら **フィッティングを適用** をクリックします。

例) ALLURE RIC R Dの場合

現在補聴器に取り付けられているレシーバー及びイヤチップを選択します。

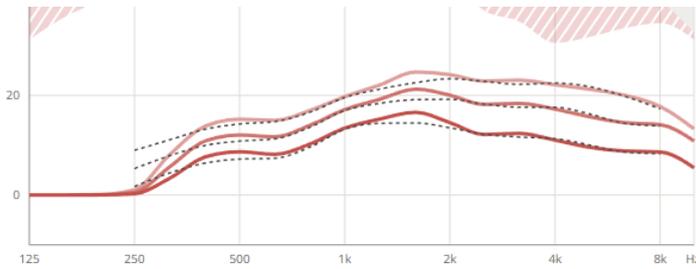


- 10** 初期設定が完了したら、**精度調整** へ進みます。



<ゲイン 画面>

音の大きさや音質の調整を行います。



グラフの切り替え

グラフビューと設定

- 挿入ゲインと周波数の関係
- 出力と周波数の関係

圧縮比の表示

低 ← 周波数 → 高

125	250	350	500	630	800	1k	1.25k	1.6k	2k	2.5k	3.2k	4k	6k	8k	全体
-9	-3	2	4	4	6	9	9	9	7	6	6	5	2	2	IG大きな音
-1	4	10	12	11	14	16	17	17	15	14	14	13	10	10	IG会話レベル
9	13	17	20	20	21	22	24	25	26	26	26	25	24	16	IG小さな音
低域					中域					高域					

左右 調整連動・解除

↑

↑

↓

↓

低域の安定化 オープンフィッティングに近い状態での過剰な低域増幅による音質悪化の防止

① 調整したい音の高さ・大きさの調整器をクリックします。この例では、音の高さが4kHz、音の大きさがIG会話レベルの調整器を選択しています。複数の調整器を選択することもできます。

1.6k	2k	2.5k	3.2k	4k	6k	8k	全体
7	5	4	①	0	0		IG大きな音
15	13	12	12	①			IG会話レベル
21	20	20	20	20	19	17	IG小さな音
							高域

- ② お客様の反応をみながらゲインを上下します。
- ↑ — 選択した項目を3dB上げる
 - ↑ — 選択した項目を1dB上げる
 - ↓ — 選択した項目を1dB下げる
 - ↓ — 選択した項目を3dB下げる

参考：テレコイルプログラム

テレコイルプログラム使用中は、補聴器マイクがオフになります。
※テレコイル(T)モード

テレコイルプログラム使用中に補聴器のマイクからも入力する場合は、
マイク設定 のチェックを入れます。
※マイクとテレコイル (MT) モード

20 21 テレコイル

マイクの設定

テレコイルプログラムにおけるマイクの高音レベルを調整できます。

マイクの設定

-12 dB -9 dB -6 dB -3 dB 0 dB

マイクの設定

15 必要に応じて **機器設定** へ進みます。この画面では補聴器のプログラムボタン等の設定を行います。
例) ALLURE RIC R Dの場合

補聴器, ワイヤレス

ARRD1 440

ARRD1 440

P1:ユニバーサル

セッションを終了

音響の選択

精度調整

プログラムとチューニング

機器設定

ユーザーコントロール 聴覚インジケータ

Allure RIC R D

ARRD1 440

ARRD1 440

プログラム変更

音響コントロール

機能なし

プログラム変更

ミュート/ミュート解除

機能なし

※ 設定できる内容は、モデルや両耳・片耳でも変わります。

16 調整が終わったら、右上の **セッションを終了** をクリックし、WCCを終了します。
調整自体を終了する場合はNoah4も終了します。

ARRD1 440

ARRD1 440

P1:ユニバーサル

セッションを終了

Allure RIC R D

WCCを終了する際は、ブラウザの「×」ボタンで閉じないようご注意ください。